

以下、本文-----

## 陰圧効果の可視化による術中褥瘡予防効果の検討

### 1. 研究の対象

腹臥位手術で頭部固定を馬蹄型ヘッドレストにより行うすべての患者

### 2. 研究目的・方法・研究期間

褥瘡対策としては、圧分散、摩擦の低減、皮膚のずれおよび湿潤環境の予防が特に重要である。これらのうち、腹臥位の脳神経外科手術では、圧分散を適切に行うことが褥瘡予防につながる。脳神経外科手術では、腹臥位手術の頭部固定には馬蹄形ヘッドレストを使用している。現状では、馬蹄形ヘッドレストにはオルテックスと伸縮包帯を巻き、患者の顔面にはデュオアクティブとエレバンロールを貼付して褥瘡対策を図っているものの、手術翌日以降まで残存する褥瘡を生じていた。自験例によると過去の褥瘡は両頬部に集中していた。頭部の重さを前額部で受けず、頬部の2点のみで受け、支えていたことが原因ではないかと考えた。そこで、体圧測定器パームQを用い、顔面にかかる圧力を可視化し、顔面3部位にかかる圧力を均等にするのが、褥瘡予防に有用であるという仮説を立てた。この仮説を前向きに検証することを本研究の目的とする。

#### 1) 顔面の圧分散の方法と根拠

顔面の角度調整により体圧値を調整することが可能であり、頭部固定時に接触箇所での体圧測定、顔の角度調整により圧の均等な分散を実施することで顔面褥瘡が生じないことがすでに報告されている。小児においても同様に褥瘡を軽減できると考え、頭部固定時に、顔面の圧測定を実施し、圧分散を図る。

#### 2) データ収集方法

①腹臥位で頭部固定を行う際に、馬蹄形ヘッドレストに前額部・両頬部の3点が均等に接するよう頭部固定を行う。

体圧測定器パームQを使用し、3点の圧測定を行う。

②左右頬部体圧差30%以内、両頬部平均値と前額部体圧差30%以内になるように、頭部および馬蹄形ヘッドレストの角度調整を行う。

③術前後に観察用紙に記載する。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者名・年齢・術式・手術時間・麻酔時間・圧測定値・術前後の皮膚状態・カルテ番号 等

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

あいち小児保健医療総合センター

部署名 手術・中材 研究責任者：森春菜

〒474-8710 愛知県大府市森岡町七丁目 426 番地

電話 0562-43-0500（代表）FAX 0562-43-0513

-----以上